

Ram Air Intake System

ラムエアインテークシステム No. MGJ9580
 取付・取扱説明書

AutoExe
 A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒104-0054 東京都中央区勝どき4-6-1
 TEL 03-3531-8151 FAX 03-3531-8152

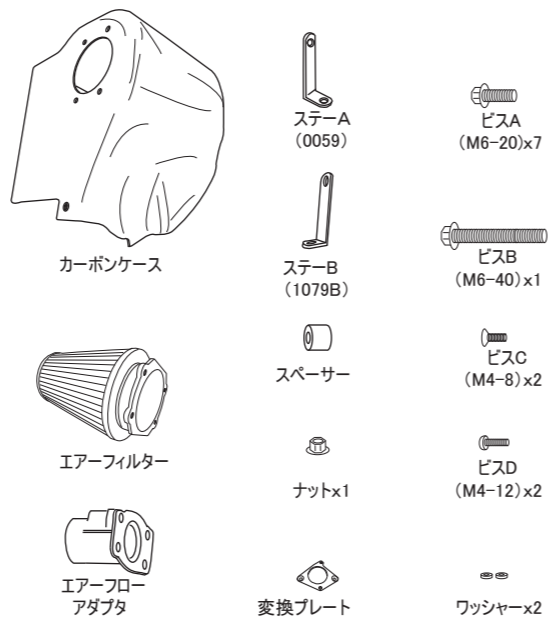
この度は、オートエクゼ ラムエアインテークシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組付ける前に行う作業、組付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付けの際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

適合車種：アテンザ (GJ5FW/GJ5FP)

警告

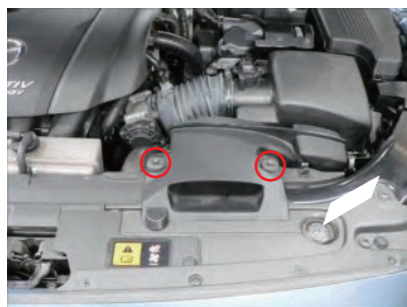
- 本書に記載する説明にしたがって装着を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむを得ない場合を除き製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないでください。
- 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方は自動車整備を専門に3年以上経験されている方、または当該経験者の監督下で作業可能な方を原則とします。
- 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダが発行の整備書を参考に作業を行ってください。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停車させてください。また、エンジンが完全に冷えてから作業を行ってください。
- 適合車種欄に記載する車両以外には絶対に取付けをしないでください。
- 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていたりした場合は、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は遮熱効果を最大限発揮させるため、インテークダクトとボンネットのクリアランスが最小限となる様、設計されており、車両の個体差によっては、ダクトケースとボンネットが干渉する場合があります。もし干渉が発生する場合は、ボンネットの高さ調整などを行ってください。

PARTS LIST



純正エアクリーナーの取外し・取付け準備

注) ボルト及びナットは緩み防止のため、必ずネジロック剤等を塗布して取付けてください。



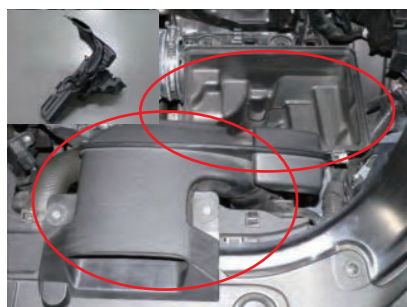
1. フレッシュエアダクトを固定しているボルトを取外します。



2. エアフローセンサー固定ビスを取外し、コネクターを接続したままエアフローセンサーを取外し、エアホースのホースクランプを締めます。



3. エアークリーナーカバーを取外し、エアークリーナーエレメントを取外します。



4. フレッシュエアダクトとエアークリーナーケースを一体で取外します。



5. O印部のボルトを取外します。
 ※取外した純正ボルトは使用しません



6. O印部のボルトを取外します。
 ※取外した純正ボルトは使用しません

ラムエアインテークシステムの取付け

注) 各作業は仮止めで行い、位置が決まってから本締めを行った方が容易です。



7. ビスC使用して、エアフローアダプタに変換プレートを取付けます。



8. ビスAを使用してエアフローアダプタとエアフィルターをカーボンケースに取付けます。



9. エアフィルターのホースバンドを締めます。



10. ビスAとナットを使用してステア-Aをカーボンケースに取付けます。



11. スパサーを挟みビスBでステア-Bを取付けます。



12. カーボンケースASSYを車両に配置します。



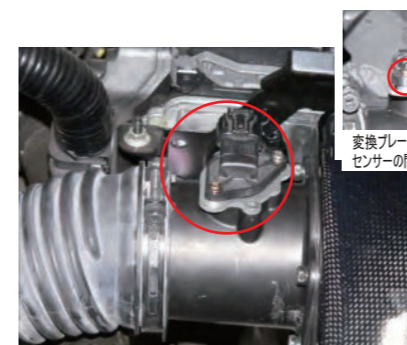
13. ビスAを使用してカーボンケースASSYを車両に固定します。



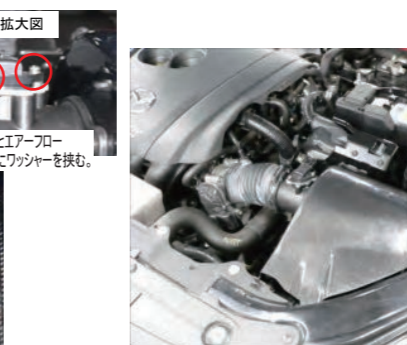
14. ビスAを使用してステア-BとカーボンケースASSYを固定します。



15. ボンネットロックステーを一旦戻し、カーボンケースと干渉がないかを確認します。(干渉する場合はステアを緩めて取付け位置を微調整を行ってください。)



16. ビスDとワッシャーを使用してエアフローセンサーを取付けます。



17. 各部増し締めを行い作業完了です。



18. 図を参考に、ヘッドライト上部付近のボンネット裏のウェザーストリップを切除して、作業完了です。